

「難民と教育」

シンポジウム

～チベットの民の知恵と経験～

2017年 7月8日 (土) 開場12:30 開演13:00～

会場：聖心女子大学グローバル共生研究所ブリット記念ホール

(聖心女子大学4号館 聖心グローバルプラザ3階)

主催：チベットサポートグループ KIKU, 聖心女子大学難民支援団体 SHRET

共催：ダライ・ラマ法王日本代表部事務所チベットハウス・ジャパン

後援：聖心女子大学グローバル共生研究所

講演者：ジェツン・ペマ氏 [元チベット子ども村代表、ダライ・ラマ法王高等教育顧問]

パネリスト：テンパ・ツェリン氏 [ダライ・ラマ法王庁デリー事務所所長]

司会：永田佳之氏 [聖心グローバル共生研究所副所長]

聖心女子大学難民支援団体 SHRET メンバー

第14代ダライ・ラマ法王がインドに亡命して以来、チベットの人々は亡命政府のあるダラムサラを拠点に祖国を離れながらも平和な社会を築く基盤を形成してきましたがその発展の礎は教育にあると言われて
います。このシンポジウムでは、親元を離れ命がけで亡命した子供たちを「チベット子ども村」でケアし、
共同生活を通してチベット文化の継承と同時に新たな時代を切り拓く心身を育ててこられた

ジェツン・ペマ氏 (ダライ・ラマ法王の実妹) にご講演いただきます。

また、講演後のパネル・ディスカッションでは、「チベット子ども村」での生活の実際や学びの成果や課題についてもお話しいたします。

入場無料

お申し込みはこちらからお願いいたします。→

